

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2019年10月8日まで（2009年7月30日設定）	
運用方針	ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてブラジルリアル建でのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、ブラデスコ・アセットマネジメント・エスエー・ディーティーブイエムに、運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ブラジルリアル建でのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# ブラジル債券オープン （毎月決算型）

愛称：ボンド・カーニバル

第62期（決算日：2014年11月10日）

第63期（決算日：2014年12月8日）

第64期（決算日：2015年1月8日）

第65期（決算日：2015年2月9日）

第66期（決算日：2015年3月9日）

第67期（決算日：2015年4月8日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ブラジル債券オープン（毎月決算型）（愛称：ボンド・カーニバル）」は、去る4月8日に第67期の決算を行いましたので、法令に基づいて第62期～第67期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ投信

MUFG

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部

お客様専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## ブラジル債券オープン（毎月決算型）のご報告

◇最近 30 期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

## マザーファンドのご報告

◇ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	13
----------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			( 参 考 指 数 )		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分	み 期 騰 落 中 率	I R F - M 指 数	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	(円換算ベース)	%	%	%	百万円
38期(2012年11月8日)	7,722	75	2.8	243,137.95	3.0	98.4	—	4,389
39期(2012年12月10日)	7,804	75	2.0	248,625.34	2.3	97.4	—	4,526
40期(2013年1月8日)	8,356	75	8.0	271,025.52	9.0	96.6	—	5,469
41期(2013年2月8日)	9,065	55	9.1	297,878.94	9.9	98.3	—	6,376
42期(2013年3月8日)	9,162	55	1.7	304,136.47	2.1	97.6	—	6,146
43期(2013年4月8日)	9,354	55	2.7	312,948.61	2.9	98.3	—	6,111
44期(2013年5月8日)	9,325	55	0.3	314,356.50	0.4	97.7	—	5,795
45期(2013年6月10日)	8,506	55	△8.2	288,910.90	△8.1	97.4	—	5,230
46期(2013年7月8日)	8,230	55	△2.6	281,883.29	△2.4	98.2	—	4,944
47期(2013年8月8日)	7,664	55	△6.2	264,528.86	△6.2	98.2	—	4,536
48期(2013年9月9日)	7,821	55	2.8	272,289.09	2.9	98.3	—	4,633
49期(2013年10月8日)	7,986	55	2.8	280,395.86	3.0	98.1	—	4,651
50期(2013年11月8日)	7,664	55	△3.3	271,050.72	△3.3	97.9	—	4,416
51期(2013年12月9日)	7,912	55	4.0	282,500.48	4.2	97.4	—	4,436
52期(2014年1月8日)	7,911	55	0.7	284,887.41	0.8	98.0	—	4,291
53期(2014年2月10日)	7,669	55	△2.4	278,842.77	△2.1	97.8	—	4,110
54期(2014年3月10日)	7,870	55	3.3	288,618.41	3.5	97.1	—	4,159
55期(2014年4月8日)	8,328	55	6.5	307,926.00	6.7	97.2	—	4,241
56期(2014年5月8日)	8,270	55	△0.0	308,897.62	0.3	97.8	—	4,044
57期(2014年6月9日)	8,280	55	0.8	312,214.77	1.1	98.1	—	3,798
58期(2014年7月8日)	8,299	55	0.9	315,551.67	1.1	97.4	—	3,515
59期(2014年8月8日)	8,049	55	△2.3	308,455.91	△2.2	97.8	—	3,121
60期(2014年9月8日)	8,540	55	6.8	331,355.35	7.4	97.8	—	3,183
61期(2014年10月8日)	8,189	55	△3.5	320,429.26	△3.3	97.6	—	2,973
62期(2014年11月10日)	8,006	55	△1.6	315,212.87	△1.6	97.5	—	2,733
63期(2014年12月8日)	8,457	55	6.3	336,388.71	6.7	98.1	—	2,769
64期(2015年1月8日)	7,992	55	△4.8	320,636.71	△4.7	98.2	—	2,539
65期(2015年2月9日)	7,669	55	△3.4	310,614.75	△3.1	97.6	—	2,357
66期(2015年3月9日)	7,015	55	△7.8	285,845.59	△8.0	96.7	—	2,217
67期(2015年4月8日)	6,871	55	△1.3	282,639.31	△1.1	97.1	—	2,262

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) I R F - M指数とは、ANBIIMA（ブラジル金融資本市場協会）が発表するブラジルリアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。

I R F - M指数（円換算ベース）とは、I R F - M指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) I R F - M 指 数 (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第62期	(期 首) 2014年10月8日	円 8,189	% —	320,429.26	% —	% 97.6	% —
	10月末	8,230	0.5	322,014.81	0.5	97.6	—
	(期 末) 2014年11月10日	8,061	△1.6	315,212.87	△1.6	97.5	—
第63期	(期 首) 2014年11月10日	8,006	—	315,212.87	—	97.5	—
	11月末	8,470	5.8	334,820.99	6.2	97.6	—
	(期 末) 2014年12月8日	8,512	6.3	336,388.71	6.7	98.1	—
第64期	(期 首) 2014年12月8日	8,457	—	336,388.71	—	98.1	—
	12月末	7,991	△5.5	318,208.47	△5.4	96.9	—
	(期 末) 2015年1月8日	8,047	△4.8	320,636.71	△4.7	98.2	—
第65期	(期 首) 2015年1月8日	7,992	—	320,636.71	—	98.2	—
	1月末	8,247	3.2	331,722.03	3.5	98.2	—
	(期 末) 2015年2月9日	7,724	△3.4	310,614.75	△3.1	97.6	—
第66期	(期 首) 2015年2月9日	7,669	—	310,614.75	—	97.6	—
	2月末	7,373	△3.9	298,756.14	△3.8	96.1	—
	(期 末) 2015年3月9日	7,070	△7.8	285,845.59	△8.0	96.7	—
第67期	(期 首) 2015年3月9日	7,015	—	285,845.59	—	96.7	—
	3月末	6,657	△5.1	271,300.16	△5.1	96.3	—
	(期 末) 2015年4月8日	6,926	△1.3	282,639.31	△1.1	97.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

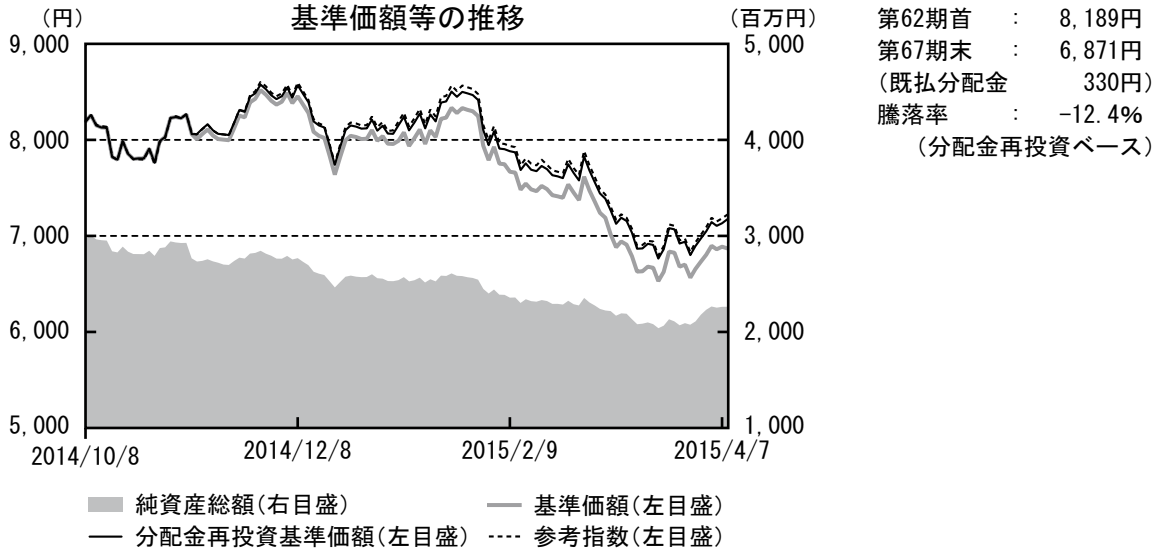
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第62期～第67期：2014/10/9～2015/4/8）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ12.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
---------	---



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の変動要因

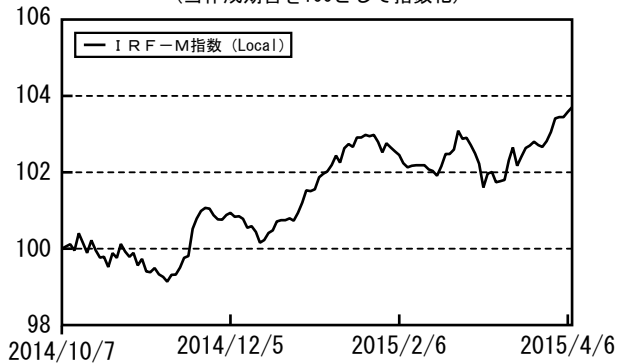
下落要因	ブラジル金利の上昇やブラジルレアルの大幅な下落などが基準価額の下落要因となりました。
------	--

投資環境について

（第62期～第67期：2014/10/9～2015/4/8）

債券市況の推移

（当作成期首を100として指数化）



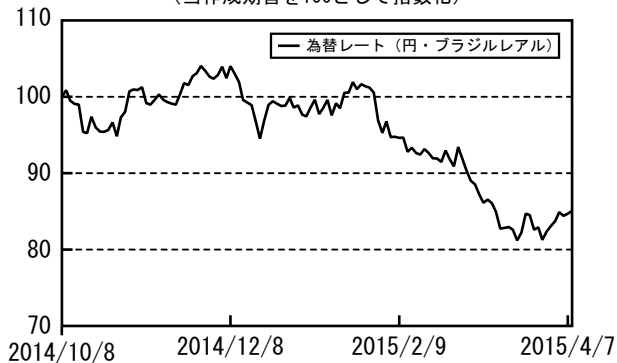
（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・当作成期首から2015年1月下旬にかけては、ブラジル大統領選挙（2014年10月に現職のルセフ大統領が再選）やその後の経済・財政政策に対する思惑などを背景に、ブラジルの金利はもみ合いながらも上昇しました。1月下旬から3月下旬にかけては、ブラジルでインフレ懸念が高まったこと、財政緊縮策を巡り、政府と議会の協議が難航したことなどが嫌気され、金利は上昇しました。3月下旬から当作成期末にかけては、政府の財政健全化への期待から金利は中期ゾーンを中心に低下に転じましたが、結果的に当作成期を通じて見ると、ブラジルの金利は上昇しました。
- ・IRF-M指数（Local）は、金利が上昇したものの、高水準の利子収益等の効果から、上昇しました。

為替市況の推移

（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・当作成期首から2015年1月下旬にかけては、ブラジル大統領選挙に対する思惑や新政権の経済・財政政策、原油価格の動向などを材料にもみ合いの展開となりました。2月から当作成期末にかけては、ブラジルの政府系石油会社の信用格付が格付会社大手から引き下げられたこと、ブラジル景気に対する悲観的な見方が強まったこと、ブラジルの財政政策などの協議が難航したことなどが嫌気され、ブラジルレアル安が進行しました。その結果、当作成期を通じて見ると、ブラジルレアルは対円で大幅に下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

当ファンドは、主要投資対象であるブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）への投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れた運用を行いました。

<ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ11.8%の下落となりました。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・インフレリスクがあるものの、ブラジル国債金利の上昇によってバリュエーション（投資価値基準）面で魅力度が低下したとの判断から物価連動国債の組入比率を引き下げました。引き続き、割引国債や固定利付国債の中で流動性が高い銘柄を中心とし、戦略的に一部物価連動国債を組み入れて運用しました。

◎金利戦略

- ・当作成期首から2014年11月下旬にかけては、大統領選挙とその後の政策動向に対する不透明感などへの懸念から、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）をやや短期化しました。その後、当作成期末にかけては、2015年1月から発足した新政権が財政支出を抑制する一方、中央銀行の金融引き締めペースは鈍化する可能性があるとの判断から、バリュエーションや政策動向に留意しつつ、長期ゾーンの債券の組入比率を引き上げ、デュレーションを長期化しました。
- ・前記の運用の結果、ブラジル金利が全体的に上昇したことや、ブラジルリアルが対円で大幅に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、中期ゾーンに比べ、相対的に金利の上昇幅が大きかった長期ゾーンの債券の組入比率を引き上げたこともマイナスに影響しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2014年10月8日）

最終利回り	11.4%
デュレーション	1.8年



作成期末（2015年4月8日）

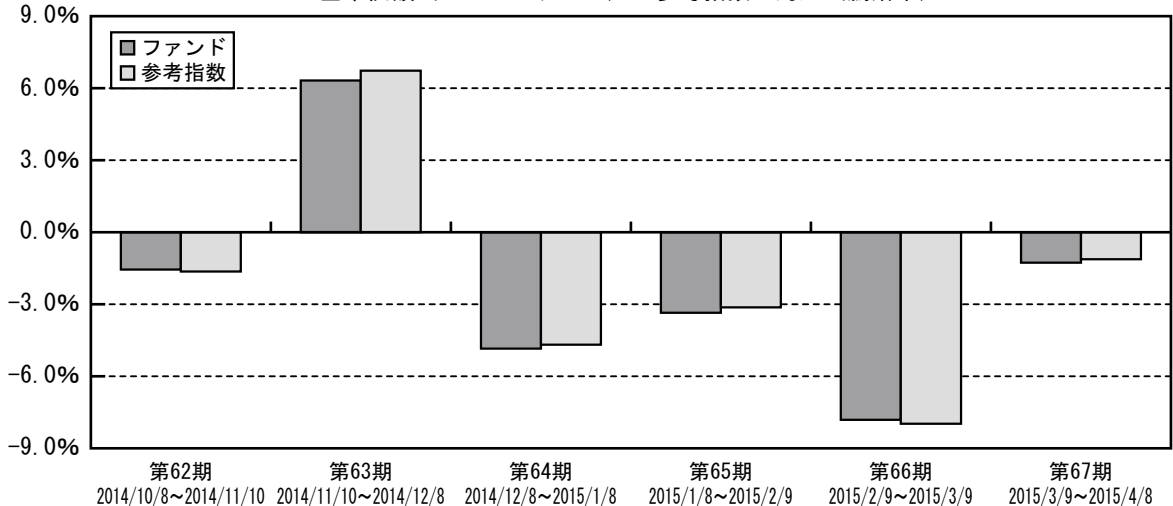
最終利回り	12.6%
デュレーション	1.8年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮していません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮していません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第62期～第67期：2014/10/9～2015/4/8）

基準価額（ベビーファンド）と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はIRFM指数（円換算ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
	2014年10月9日～ 2014年11月10日	2014年11月11日～ 2014年12月8日	2014年12月9日～ 2015年1月8日	2015年1月9日～ 2015年2月9日	2015年2月10日～ 2015年3月9日	2015年3月10日～ 2015年4月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	55 0.682%	55 0.646%	55 0.683%	55 0.712%	55 0.778%	55 0.794%
当期の収益	29	35	55	25	26	18
当期の収益以外	25	19	—	29	28	36
翌期繰越分配対象額	804	784	946	916	888	853

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### <ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

#### ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に基づき、為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。

### <ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・ブラジルでは、干ばつの影響によるインフレリスクやブラジル中央銀行の金融引き締め姿勢などに注意が必要ではあるものの、ブラジルの金利水準にはこうした悪材料がかなり織り込まれていると見ています。一方で、政府の緊縮的な財政政策が進展すると見ていることに加え、ブラジルの景気減速が年後半にかけて進むと予想していることなどから、ブラジル中央銀行は2016年には金融政策を転換する可能性があります。そのため、中長期ゾーンの債券は相対的に金利の低下余地が大きく、投資妙味があると考えます。
- ・為替市場では、短期的にはブラジルの景気減速懸念や米国の早期利上げ観測などの影響による不透明感が残るものの、レアルのバリュエーションにはやや割安感が出ていると考えていること、政府の財政健全化に向けた政策が進むと見ていることなどから、今後レアルがさらに大きく下落する余地は小さくなっていると考えます。そのため、レアルは対米ドルでレンジ内で推移する展開になると予想しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・金利戦略では、政策動向などを注視しながらデュレーションを長期化することを検討します。また、運用効率を勘案し、割引国債や固定利付国債の中で、流動性が高い銘柄の組入比率を高めとする方針を維持します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年10月9日～2015年4月8日)

項 目	第62期～第67期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(29)	(0.378)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価（再委託先の報酬を含みます。）
（ 販 売 会 社 ）	(32)	(0.403)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.027)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	7	0.091	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 7)	(0.089)	外国での資産の保管等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	70	0.899	
作成期中の平均基準価額は、7,828円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年10月9日～2015年4月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第62期～第67期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千口 110,661	千円 187,390	千口 320,533	千円 616,110

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月9日～2015年4月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年4月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第61期末		第67期末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千口 1,524,191	千口 1,314,319	千円 2,251,297	

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年4月8日現在)

項 目	第67期末	
	評 価 額	比 率
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千円 2,251,297	% 98.5
コール・ローン等、その他	33,204	1.5
投資信託財産総額	2,284,501	100.0

(注) ブラデスコ ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（15,821,745千円）の投資信託財産総額（16,384,627千円）に対する比率は96.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルリアル=38.41円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末
	2014年11月10日現在	2014年12月8日現在	2015年1月8日現在	2015年2月9日現在	2015年3月9日現在	2015年4月8日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,875,753,719	2,803,554,961	2,562,894,114	2,384,515,729	2,240,543,609	2,284,501,280
コール・ローン等	32,216,350	16,520,792	18,304,987	15,667,880	45,969,429	24,223,478
ブラデスコブラジル債券マザーファンド(評価額)	2,719,157,325	2,755,054,147	2,527,289,099	2,345,367,823	2,194,574,103	2,251,297,768
未収入金	124,380,000	31,980,000	17,300,000	23,480,000	—	8,980,000
未収利息	44	22	28	26	77	34
(B) 負債	142,089,786	34,486,150	23,042,975	27,280,892	23,355,950	22,049,544
未払収益分配金	18,778,698	18,008,435	17,478,879	16,905,272	17,384,746	18,110,852
未払解約金	119,078,178	13,032,222	1,999,451	6,777,226	3,103,185	1,089,176
未払信託報酬	4,221,102	3,435,883	3,554,700	3,588,356	2,860,022	2,841,569
その他未払費用	11,808	9,610	9,945	10,038	7,997	7,947
(C) 純資産総額(A－B)	2,733,663,933	2,769,068,811	2,539,851,139	2,357,234,837	2,217,187,659	2,262,451,736
元本	3,414,308,902	3,274,261,038	3,177,978,001	3,073,685,890	3,160,862,971	3,292,882,240
次期繰越損益金	△ 680,644,969	△ 505,192,227	△ 638,126,862	△ 716,451,053	△ 943,675,312	△ 1,030,430,504
(D) 受益権総口数	3,414,308,902口	3,274,261,038口	3,177,978,001口	3,073,685,890口	3,160,862,971口	3,292,882,240口
1万円当たり基準価額(C/D)	8,006円	8,457円	7,992円	7,669円	7,015円	6,871円

○損益の状況

項 目	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
	2014年10月9日～ 2014年11月10日	2014年11月11日～ 2014年12月8日	2014年12月9日～ 2015年1月8日	2015年1月9日～ 2015年2月9日	2015年2月10日～ 2015年3月9日	2015年3月10日～ 2015年4月8日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,222	1,371	1,353	1,247	1,396	1,382
受取利息	1,222	1,371	1,353	1,247	1,396	1,382
(B) 有価証券売買損益	△ 38,980,132	168,025,899	△125,858,566	△ 78,951,377	△181,399,252	△ 17,328,860
売買益	3,118,015	172,674,843	4,268,952	2,418,440	1,524,740	4,013,228
売買損	△ 42,098,147	△ 4,648,944	△130,127,518	△ 81,369,817	△182,923,992	△ 21,342,088
(C) 信託報酬等	△ 4,232,910	△ 3,445,493	△ 3,564,645	△ 3,598,394	△ 2,868,019	△ 2,849,516
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 43,211,820	164,581,777	△129,421,858	△ 82,548,524	△184,265,875	△ 20,176,994
(E) 前期繰越損益金	△194,674,210	△243,862,012	△ 93,638,885	△230,999,594	△321,599,586	△ 491,526,704
(F) 追加信託差損益金	△423,980,241	△407,903,557	△397,587,240	△385,997,663	△420,425,105	△ 500,615,954
(配当等相当額)	( 154,193,234)	( 148,965,065)	( 145,495,464)	( 141,869,216)	( 153,641,837)	( 173,282,887)
(売買損益相当額)	(△578,173,475)	(△556,868,622)	(△543,082,704)	(△527,866,879)	(△574,066,942)	(△ 673,898,841)
(G) 計(D+E+F)	△661,866,271	△487,183,792	△620,647,983	△699,545,781	△926,290,566	△1,012,319,652
(H) 収益分配金	△ 18,778,698	△ 18,008,435	△ 17,478,879	△ 16,905,272	△ 17,384,746	△ 18,110,852
次期繰越損益金(G+H)	△680,644,969	△505,192,227	△638,126,862	△716,451,053	△943,675,312	△1,030,430,504
追加信託差損益金	△423,980,241	△407,903,557	△397,587,240	△385,997,663	△420,425,105	△ 500,615,954
(配当等相当額)	( 154,223,717)	( 149,002,435)	( 145,584,904)	( 141,897,799)	( 153,842,884)	( 173,594,127)
(売買損益相当額)	(△578,203,958)	(△556,905,992)	(△543,172,144)	(△527,895,462)	(△574,267,989)	(△ 674,210,081)
分配準備積立金	120,405,782	107,868,908	155,168,812	139,960,241	127,100,459	107,481,156
繰越損益金	△377,070,510	△205,157,578	△395,708,434	△470,413,631	△650,350,666	△ 637,295,706

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 3,631,474,275円  
 作成期中追加設定元本額 600,598,280円  
 作成期中一部解約元本額 939,190,315円
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,030,430,504円です。
- ③分配金の計算過程

		第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
費用控除後の配当等収益額	A	9,912,566円	11,477,529円	68,825,486円	7,850,847円	8,274,910円	6,197,365円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	B	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	C	154,223,717円	149,002,435円	145,584,904円	141,897,799円	153,842,884円	173,594,127円
分配準備積立金額	D	129,271,914円	114,399,814円	103,822,205円	149,014,666円	136,210,295円	119,394,643円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	293,408,197円	274,879,778円	318,232,595円	298,763,312円	298,328,089円	299,186,135円
当ファンドの期末残存口数	F	3,414,308,902口	3,274,261,038口	3,177,978,001口	3,073,685,890口	3,160,862,971口	3,292,882,240口
1万円当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	859円	839円	1,001円	971円	943円	908円
1万円当たり分配金額	H	55円	55円	55円	55円	55円	55円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	18,778,698円	18,008,435円	17,478,879円	16,905,272円	17,384,746円	18,110,852円

- ④「ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の35の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○分配金のお知らせ

	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
1 万口当たり分配金（税込み）	55円	55円	55円	55円	55円	55円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※2014年1月1日より、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」がご利用になれます。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。

\*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 【お知らせ】

- ①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ④運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ⑤新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ⑥デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ⑦2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

# ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド

## 《第13期》決算日2015年4月8日

[計算期間：2014年10月9日～2015年4月8日]

「ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド」は、4月8日に第13期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。なお、投資環境等を勘案して、一部、ブラジルレアル建ての国際機関債、政府機関債等に投資する場合があります。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。債券等の運用にあたっては、ブラデスコ・アセットマネジメント・エスエー・ディーティーブイエムに、運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ブラジルレアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) IRF-M指数		債 組入比率	債 先物比率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	(円換算ベース)	期 騰 落			
	円	%			%	%	百万円
9期(2013年4月8日)	19,171	32.2	312,948.61	32.6	98.7	—	54,808
10期(2013年10月8日)	17,162	△10.5	280,395.86	△10.4	98.6	—	35,501
11期(2014年4月8日)	18,821	9.7	307,926.00	9.8	97.7	—	29,410
12期(2014年10月8日)	19,415	3.2	320,429.26	4.1	98.1	—	21,028
13期(2015年4月8日)	17,129	△11.8	282,639.31	△11.8	97.6	—	16,212

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) IRF-M指数とは、ANBIMA（ブラジル金融資本市場協会）が発表するブラジルレアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。

IRF-M指数（円換算ベース）とは、IRF-M指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) I R F - M 指 数 (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2014年10月8日	円 19,415	% —	320,429.26	% —	% 98.1	% —
10月末	19,534	0.6	322,014.81	0.5	98.0	—
11月末	20,269	4.4	334,820.99	4.5	98.1	—
12月末	19,271	△ 0.7	318,208.47	△ 0.7	97.3	—
2015年1月末	20,059	3.3	331,722.03	3.5	98.5	—
2月末	18,075	△ 6.9	298,756.14	△ 6.8	97.1	—
3月末	16,447	△15.3	271,300.16	△15.3	97.1	—
(期 末) 2015年4月8日	17,129	△11.8	282,639.31	△11.8	97.6	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



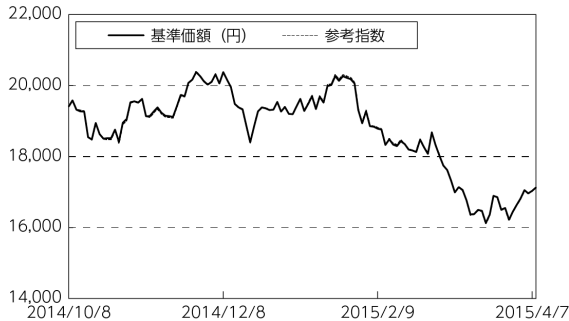
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.8%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

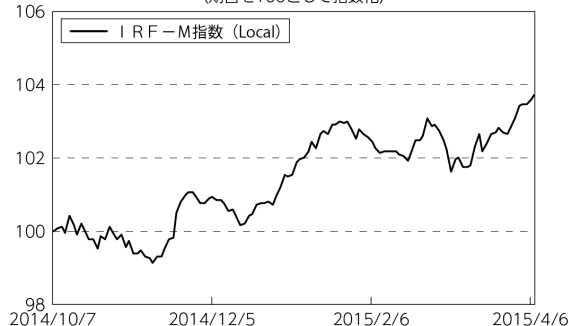
(マイナス要因)

- ・ブラジル金利の上昇（債券価格の下落）やブラジルレアルの大幅な下落などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

債券市況の推移

(期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・期首から2015年1月下旬にかけては、ブラジル大統領選挙（2014年10月に現職のルセフ大統領が再選）やその後の経済・財政政策に対する思惑などを背景に、ブラジルの金利はもみ合いながらも上昇しました。1月下旬から3月下旬にかけては、ブラジルでインフレ懸念が高まったこと、財政緊縮策を巡り、政府と議会の協議が難航したことなどが嫌気され、金利は上昇しました。3月下旬から当作成期末にかけては、政府の財政健全化への期待から金利は中期ゾーンを中心に低下に転じましたが、結果的に期を通じて見ると、ブラジルの金利は上昇しました。
- ・I R F - M 指数 (Local) は、金利が上昇したものの、高水準の利子収益等の効果から、上昇しました。

為替市況の推移

(期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・期首から2015年1月下旬にかけては、ブラジル大統領選挙に対する思惑や新政権の経済・財政政策、原油価格の動向などを材料にもみ合いの展開となりました。2月から期末にかけては、ブラジルの政府系石油会社の信用格付が格付会社大手から引き下げられたこと、ブラジル景気に対する悲観的な見方が強まったこと、ブラジルの財政政策などの協議が難航したことなどが嫌気され、ブラジルレアル安が進行しました。その結果、期を通じて見ると、ブラジルレアルは対円で大幅に下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

## ◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

## ◎債券種別構成

- ・インフレリスクがあるものの、ブラジル国債金利の上昇によってバリュエーション（投資価値基準）面で魅力度が低下したとの判断から物価連動国債の組入比率を引き下げました。引き続き、割引国債や固定利付国債の中で流動性が高い銘柄を中心とし、戦略的に一部物価連動国債を組み入れて運用しました。

## ◎金利戦略

- ・期首から2014年11月下旬にかけては、大統領選挙とその後の政策動向に対する不透明感などへの懸念から、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）をやや短期化しました。その後、期末にかけては、2015年1月から発足した新政権が財政支出を抑制する一方、中央銀行の金融引き締めペースは鈍化する可能性があるとの判断から、バリュエーションや政策動向に留意しつつ、長期ゾーンの債券の組入比率を引き上げ、デュレーションを長期化しました。

前記の運用の結果、ブラジル金利が全体的に上昇したことや、ブラジルレアルが対円で大幅に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、中期ゾーンに比べ、相対的に金利の上昇幅が大きかった長期ゾーンの債券の組入比率を引き上げたこともマイナスに影響しました。

## ◎今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・ブラジルでは、干ばつの影響によるインフレリスクやブラジル中央銀行の金融引き締め姿勢などに注意が必要ではあるものの、ブラジルの金利水準にはこうした悪材料がかなり織り込まれていると見ています。一方で、政府の緊縮的な財政政策が進展すると見ていることに加え、ブラジルの景気減速が年後半にかけて進むと予想していることなどから、ブラジル中央銀行は2016年には金融政策を転換する可能性があります。そのため、中長期ゾーンの債券は相対的に金利の低下余地が大きく、投資妙味があると考えます。
- ・為替市場では、短期的にはブラジルの景気減速懸念や米国の早期利上げ観測などの影響による不透明感が残るものの、レアルのバリュエーションにはやや割安感が出ていると考えていること、政府の財政健全化に向けた政策が進むと見ていることなどから、今後レアルがさらに大きく下落する余地は小さくなっていると考えます。そのため、レアルは対米ドルでレンジ内で推移する展開になると予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・金利戦略では、政策動向などを注視しながらデュレーションを長期化することを検討します。また、運用効率を勘案し、割引国債や固定利付国債の中で、流動性が高い銘柄の組入比率を高めとする方針を維持します。

## ○1万口当たりの費用明細

(2014年10月9日～2015年4月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 17	% 0.089	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(17)	(0.089)	外国での資産の保管等に要する費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	17	0.089	
期中の平均基準価額は、18,942円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2014年10月9日～2015年4月8日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ブラジルリアル	千ブラジルリアル
外 国	ブラジル	国債証券	49,976	99,042

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年10月9日～2015年4月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2015年4月8日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル 443,455	千ブラジルレアル 411,909	千円 15,821,444	% 97.6	% —	% 22.9	% 7.1	% 67.6
合 計	443,455	411,909	15,821,444	97.6	—	22.9	7.1	67.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
国債証券	10 (IN) BRAZIL NTN 250101	10.0	9,290	8,187	314,466	2025/1/1	
	10 (IN) BRAZIL NTN-F170101	10.0	119,265	116,943	4,491,804	2017/1/1	
	10 (IN) BRAZIL NTN-F210101	10.0	87,700	80,677	3,098,816	2021/1/1	
	10 (IN) BRAZIL NTN-F230101	10.0	8,600	7,730	296,937	2023/1/1	
	6 (IN) BR NTN-B I/L 160815	6.0	5,180	13,533	519,804	2016/8/15	
	BRAZIL-LTN 160101	—	169,770	154,899	5,949,676	2016/1/1	
	BRAZIL-LTN 180101	—	10,900	7,818	300,324	2018/1/1	
	BRAZIL-LTN 180701	—	32,750	22,119	849,613	2018/7/1	
合 計					15,821,444		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2015年4月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 15,821,444	% 96.6
コール・ローン等、その他	563,183	3.4
投資信託財産総額	16,384,627	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(15,821,745千円)の投資信託財産総額(16,384,627千円)に対する比率は96.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルレアル=38.41円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,384,627,815
コール・ローン等	563,182,238
公社債(評価額)	15,821,444,778
未収利息	799
(B) 負債	171,980,000
未払解約金	171,980,000
(C) 純資産総額(A-B)	16,212,647,815
元本	9,465,178,038
次期繰越損益金	6,747,469,777
(D) 受益権総口数	9,465,178,038口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,129円

<注記事項>

①期首元本額	10,831,056,506円
期中追加設定元本額	465,891,155円
期中一部解約元本額	1,831,769,623円

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)	7,605,131,879円
ブラデスコ ブラジル債券ファンド(成長重視型)	515,070,337円
ブラジル債券オープン(毎月決算型)	1,314,319,440円
N a v i o ブラジル債券ファンド	30,656,382円
合計	9,465,178,038円

【お知らせ】

- ①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ④新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ⑤デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)

○損益の状況 (2014年10月9日～2015年4月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	874,348,494
受取利息	874,348,494
(B) 有価証券売買損益	△ 3,018,558,395
売買益	50,557,434
売買損	△ 3,069,115,829
(C) 保管費用等	△ 16,909,748
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,161,119,649
(E) 前期繰越損益金	10,197,390,958
(F) 追加信託差損益金	349,188,845
(G) 解約差損益金	△ 1,637,990,377
(H) 計(D+E+F+G)	6,747,469,777
次期繰越損益金(H)	6,747,469,777

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。